

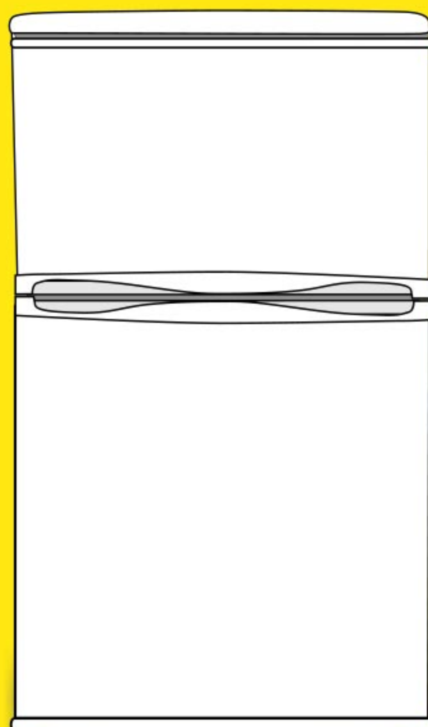
品番/URR-88D
ノンフロン冷凍冷蔵庫(家庭用)
REFRIGERATOR

CONTENTS

当社の冷蔵庫をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書を最後までお読みのうえ、正しい使い方で末長くご愛用ください。お読みになった後、大切に保管して下さい。

別売部品		
品　名	商品番号	価　格
製氷皿	A0540	¥600ー
霜取へら	A0542	¥400ー

※価格は全て税込みとなります。



取扱説明書

1. 安全のため必ずお守りください

●ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになって、正しくお使いください。

⚠警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠注意 人が損害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例



○記号は、「禁止」(しないでください)を示します。
●記号は、「強制」(必ずしてください)を示します。

⚠ 警 告

	電源は交流100V以外使わない ●火災・感電・故障の原因となります。		分岐コンセントを使用しない ●タコ足配線をすると、異常発熱して発火することがあります。 ●定格15A以上のコンセントを単独使用してください。
	電源プラグを冷蔵庫で押し付けない ●圧迫や傷により過熱し、発火の恐れがあります。		傷んだコードや電源プラグ・ゆるんだコンセントは使わない ●ショート・漏電・過熱し、感電・発火の原因になります。
	電源コードの傷付け。破損・加工・変形・束ねや、引っ張ったり無理に曲げたりしない ●重い物を載せたり、はさみ込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。		電源プラグはコードを持って抜かない ●コードが傷み感電やショートして発火することがあります。 ●必ず電源プラグを持って抜いてください。
	ぬれた手で電源プラグを持たない ●感電やけがをすることがあります。		冷蔵庫の上に水を入れた容器を置かない ●こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり漏電し、火災・感電の恐れがあります。
	本体や庫内に水をかけない ●電気絶縁が低下し、感電・火災の恐れがあります。		可燃性スプレーを近くで使わない ●電気接点の火花で引火する危険があります。
	引火しやすい物は入れない ●エーテル・ベンジン・LPガス・接着剤などは、引火爆発する危険があります。		薬品や学術資料を保存しない ●厳しい管理の必要な物は、家庭用冷蔵庫で保存できません。
	ドアにぶらさがったりドアに乗ったりしない ●倒れたり、手をはさんだりしてけがをすることがあります。		冷蔵庫の上に乗らない ●倒れてけがをすることがあります。
	分解・修理・改造は絶対にしない ●発火したり、異常動作してけがをすることがあります。 ●分解・修理が必要なときは、販売店へご相談ください。		アース(接地)を確実に行う ●故障などによる漏電により、感電する恐れがあります。 ●アース工事は、必ず販売店に依頼してください。
	土間などの湿気の多いところの設置はなるべく避ける ●電気絶縁が悪くなり、感電や火災の原因になります。		可燃性ガスが漏れているときは、冷蔵庫に触れず窓を開け換気する ●電気接点の火花で引火爆発し、火災・やけどの原因になります。
	電源プラグの刃や刃の取り付け面のほこりは、よくふきとる ●電気絶縁が低下し、感電・火災の原因になります。		閉じ込み防止～リサイクルのとき ●幼児の閉じ込みを防ぐため、ドアパッキングを外す。
	お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く ●感電やけがをすることがあります。		コンセントは15A以上のものを単独で使う ●他の器具と併用したタコ足配線は、発熱し発火の原因になります。
	電源プラグは、ほこりを取り、刃の根元まで確実に差込む ●ほこりが付着したり、不十分な差込みは、発熱し発火の原因になります。		水をかけない ●電気部品に水がかかると、ショートや感電の恐れがあります。

冷媒について

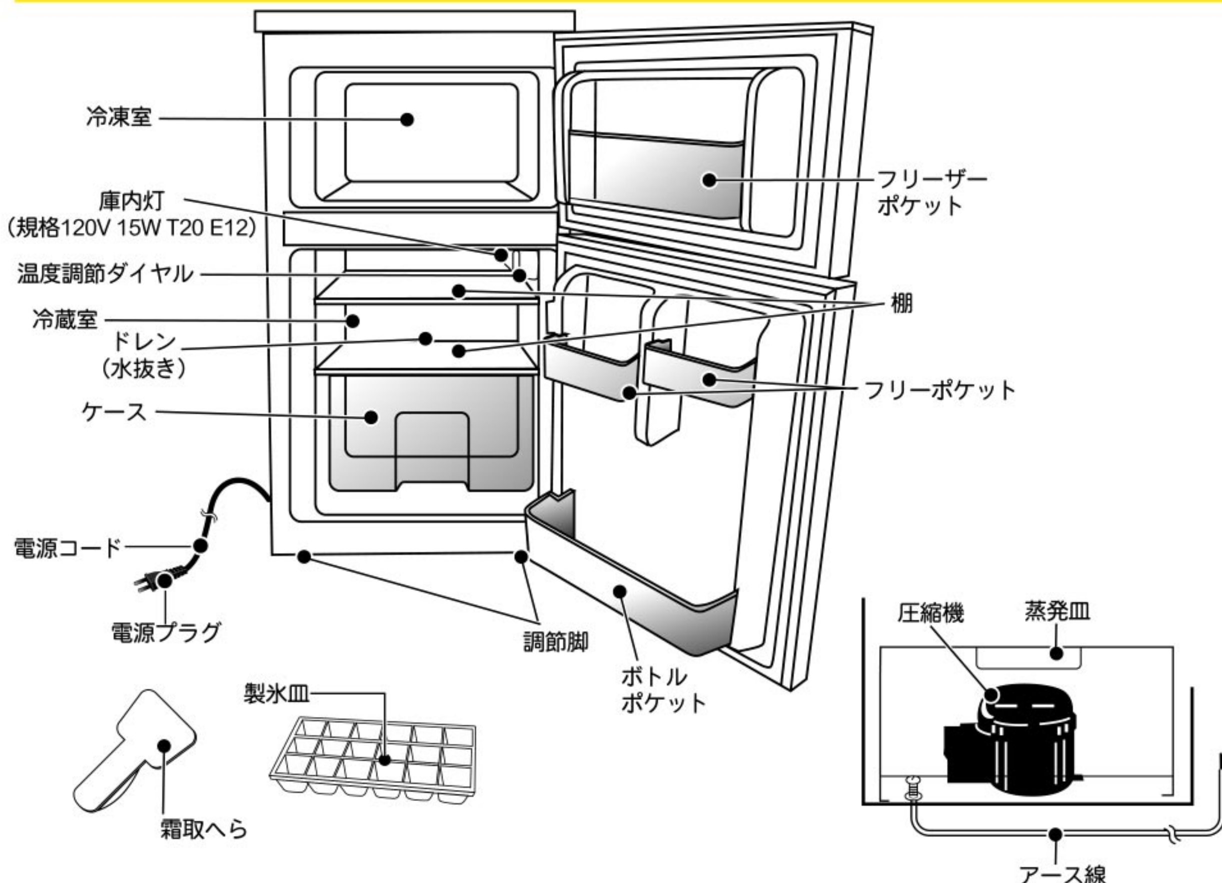
	冷蔵庫本体の冷却回路（配管）を傷つけない ●可燃性の冷媒を使用してますので、発火・爆発の恐れがあります。		冷却回路（配管）を傷つけたときや可燃性ガスが漏れているのに気がついたときは、冷蔵庫にふれず火気の使用を避け窓を開けて換気する ●電源プラグの抜き差しなど火花で発火・爆発し、火災ややけどの原因になります。
	冷蔵庫の周囲はすき間を開けて据え付ける ●冷媒が漏れると滞留し、発火・爆発の恐れがあります。		庫内では電気製品を使用しない ●冷媒が漏れていると電気製品の接点の火花で発火・爆発の恐れがあります。

⚠ 注 意

	冷凍室にビン類を入れない ●中身が凍って割れ、かげをすることがあります。		冷蔵庫底面に手を入れない ●清掃するとき、底面に手を入れると鉄板により手を切る恐れがあります。
	冷却器や冷凍室の食品・容器をぬれた手で触れない ●凍傷になる恐れがあります。(特に金属製の物)		移動させるときは、調節脚を上げる ●引きずって移動すると、床を傷めます。 ●傷の付きやすい床では保護用の板などを敷いてください。
	におったり、変色した食品は食べない ●腐敗により、病気の原因になることがあります。		運搬するときは調節脚と背面上部を持つ ●手がすべってけがをする恐れがあります。 ●背面上部は手がすべらないように注意してください。
	圧縮器や配管に触れない ●運転中や停止直後の圧縮器や配管は高温になっていますので、やけどやけがの恐れがあります。		長期使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●絶縁劣化などのより、感電や漏電・火災の原因になることがあります。

	冷凍室内の食品や容器（特に貴金属製）に、ぬれた手でさわらない ●くっついたり凍傷になる恐れがあります。		後ろ側下部の機械部分(圧縮機など)に、手をふれない ●運転中は熱くなるので、やけどの恐れがあります。 また鉄板により、けがをすることがあります。
	冷蔵庫を運搬するときは、下部前脚と背面上部を確実に持って運搬する。 ●肩を持ったり、手をすべらすと、けがをする恐れがあります。		

2. 各部のなまえ



お願い

●電源プラグを抜いたときは、すぐに差し込まず約10分以上待ってください。
●冷蔵庫の上面に、熱器具を置いて使わないでください。冷蔵庫の上面が、熱により変形·変色することがあります。
●保冷剤を入れるときは、袋の破れたものは入れないでください。中身が漏れると、故障の原因になります。

3. 仕　様

電源	交流100V 50 /60Hz	消費電力	85W (50/60Hz)
年間消費電力	約248kwh (50/60Hz) ※1	コードの長さ	約1.8m
冷蔵方式	直冷式	ドア開き	右開き
質量	31kg	付属品	製氷皿、霜取へら
大きさ	幅480mm×奥行570mm×高さ860mm		
有効内容積	全定格容積：88L	冷蔵室：58L 冷凍室：30L	

※1 消費電力量は日本工業用規格(JIS C9801-2006)に定められた方法で測定した値で、年平均あたりの消費電力量を示します。

●本製品は日本国内用に設計されていますので、国外での使用はできません。

4.上手な食品の入れかた

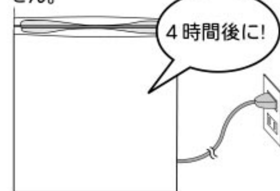
●冷蔵庫は､『食品の鮮度をよくするもの』ではなく､あくまでも｢食品が痛むことにある程度のブレーキをかけるもの｣です｡取扱い説明書に従って正しく使用し､適切な食品管理を心がけてください｡

設置をしたら．．．

庫内を拭く
まず、庫内を清潔に。



充分に冷やしてから食物を入れる
電源を入れてもすぐには冷えません。



夏場など外気温が高いときは、４時間以上かかることがあります。

食品を入れるとき．．．

拭く!
意外と多くの汚れがついてます。



包む!
乾燥や移り香を防ぎます。



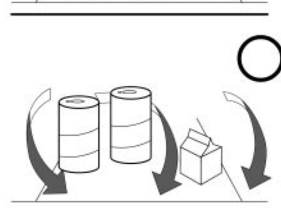
冷ます!
熱い物は庫内の温度を上げ、電気代のムダになります。



食品の入れかた．．．

すき間をあける
詰めすぎると冷えにくくなります。





⚠ 注　意

●におったり、変色した食品は食べない。
食物の腐敗による菌発生により食中毒の恐れがあります。

この症状は	庫内が臭う(使いはじめ)	プラスチックやドアパッキングの臭いのせいです。 庫内が冷えると徐々に少なくなります。
	扉を開けるときしむ音がする	扉を開けると庫内温度の変化により部品がきしみ､ピシャっと音がします｡また､扉が閉まっていても同様の音がすることがありますが､異常ではありません｡

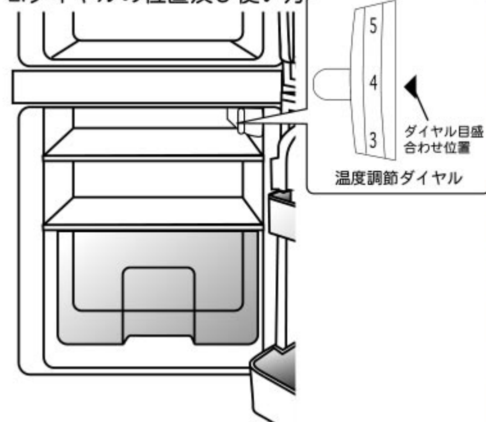
5.温度調節について

■温度の調節方法

冷蔵庫･冷凍室は通常､｢4｣の位置でお使いください｡

1.周囲温度と使用目的により冷蔵庫内部の温度を温度調節ダイヤルにて調節してください。

2.ダイヤルの位置及び使い方



目盛	使いかた
0	冷却運転が停止します
1 － 2	●冷蔵室･冷凍室共に､あまり冷やす必要のないとき ●冷え過ぎるとき ●冬期など周囲温度が低いとき
3 － 5	通常のとき
6 － 7	●冷凍室でホームフリージングされるとき(ホームフリージングが終わったらもとにもどしてください) ●冷蔵室･冷凍室共に､強く冷やしたいとき ●夏期など周囲温度が高いとき

目盛	冷蔵室	冷凍室
0	停止	停止
1 － 2	約10℃～6℃	約-12℃～-16℃
3 － 5	約6℃～3℃	約-16℃～-22℃
6 － 7	約3℃～0℃	約-22℃～-25℃

●各表示温度は､周囲温度30℃において食品を入れずに扉を閉じて温度が安定したときの値です｡

お知らせ

●温度調節ダイヤル目盛を「7」で長時間使用すると、庫内の食品が凍結することがあります。
急いで冷やすなどの用途を終えたら、元の目盛に戻してください。

6.ご使用方法

お使いになる前に

1.冷蔵庫の中は清潔にされておりますが、再度拭いてお使いください。
2.冷蔵庫付属品を指定された位置にセットしてください。
3.プラグをコンセントに差込んでください。
●初めに冷凍冷蔵庫のドアを開けるとプラスチック臭がする場合がありますが、これは異常ではありません。
4.冷蔵庫に食品を入れる前に、冷蔵庫を3～4時間くらい温度調節ダイヤルの“7”に合わせ、. 充分に冷却した後に食品を入れてください。ダイヤルを目盛り3～5に戻してください。

冷蔵室

●棚は、食品の高さや使い方に合わせて調節してください。

⚠ 注　意

●棚には3kg以上のものを載せないでください。棚が変形したり、割れたりすることがあります。
●ポケットに不安定で倒れやすいビン類や缶類を立てて入れないでください。落下の原因になります。
●棚は決められた位置以外では使用しないでください。棚のストッパーがきかず、棚や食品が落下しやすくなります。

冷凍室

●食品の長期保存に用います。（ただし、食品固有の品質保持期限内において）

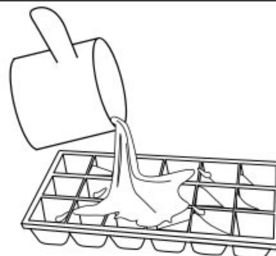
⚠ 注　意

●冷凍室にビン類を入れない。中身が凍って割れ、けがをすることがあります。
●冷凍室の食品・容器をぬれた手で触れない。凍傷になる恐れがあります。（特に金属製の物）

製氷及び保存の方法

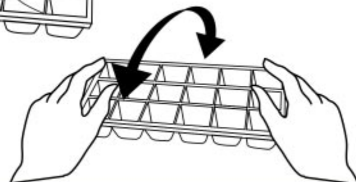
製氷方法

1.製氷皿に八分目の水を入れてください。
2.製氷皿を冷凍室に置いてください。
温度調節ダイヤルを“7”に合わせればより一層早く製氷できます。



氷の取り出し方

両手で製氷皿を下へ向けて何度かひねってください。
氷が落ちます。



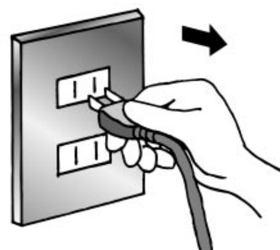
⚠ 注　意

●冷凍室にビン類を入れない。中身が凍って割れ、けがをすることがあります。
●冷凍室の食品・容器をぬれた手で触れない。凍傷になる恐れがあります。（特に金属製の物）

6.ご使用方法

霜取りのしかた

冷凍室に多量の霜がつくと冷却力が低下し、電気代のムダになります。
霜が約1cmついたら、霜取りを行なってください。



1.電源プラグをコンセントから抜く。
2.冷凍室の中にある食品、製氷皿を取り出す。
3.霜取へらで霜取りを行ってください。
4.霜取りが終わったら、付着した水を布で拭き取る。
5.電源プラグを元の位置に差込み、庫内を充分に冷やしてから食品、製氷皿を元の位置に戻す。

お願い及び警告

●霜取り時には冷凍室の中に食品などを入れないでください。
霜取りで霜が溶け落ち、食品を傷めます。
●冷却器の霜や凍りついた容器などは、絶対に鋭利な刃物で取らないでください。
冷却器に穴があき、冷媒が漏れて冷えなくなり、また、発火の危険性があります。
（これらによる故障は、修理できません）
●霜取り中はドアを開放し、霜を溶かしてください。

7.こんなときは

停電したときは

ドアの開閉を減らし、新たな食品の保存は避ける。(庫内温度上昇の防止)

塗装面に傷がついたときは

さびは紙やすりで落とし、早めに防水性壁紙を貼る。

庫内灯を交換するときは

1.電源プラグを抜く。
2.プラスドライバーでランプカバーの取り付けねじ1本を外し、ランプカバーを取り外す。
3.庫内灯を交換する。庫内灯交換後、ランプカバーを取り付けてください。

長時間使わないときは

庫内を掃除し、2~3日間ドアを開けて乾燥させる。(カビ・においの防止)

一度抜いた電源プラグはすぐに差し込まない

圧縮機に負荷がかかり故障の原因になります。約10分後に差し込みます。

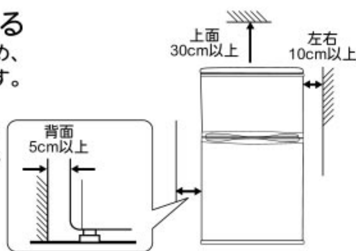


■ 庫内灯を交換するときは、必ず電源プラグを抜く。抜かずに作業すると感電やけがをすることがあります。
■ 庫内灯はゆるみなくしっかりねじ込んでください。冷媒が庫内に漏れた場合、引火して爆発する原因になります。

8.設置と移動・運搬のしかた

放熱スペースをあける

●冷蔵庫は食品を冷やすため、周囲に熱を放出しています。図のように上部30cm、背面5cm、左右10cm以上すき間をあけてください。



熱気・直射日光あたらないところ

●冷却力の低下を抑え、電気代のムダを防きます。

湿気が少ない、風通しのよいところ

●さびの発生をを抑え、電気代のムダを防きます。

丈夫で水平なところ

●調節脚を回し、固定をしてください。（振動や騒音の防止）じゅうたん・たたみ・塩化ビニール製の床材は、下に丈夫な板を敷いてください。（熱による変色の防止）

移動・運搬の準備

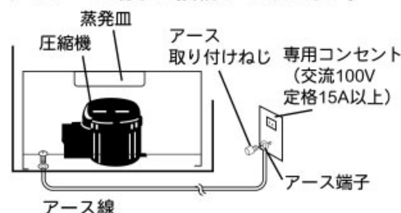
●電源プラグを抜く。
●食品および製氷皿の水・氷を取り出す。
●調節脚を上げる。
●本体を、手前に引き出す。
（傷の付きやすい床では、保護用の板などを敷く）
●蒸発皿にたまった水や、冷却器に付着した水滴を拭き取る。

アース（接地）のしかた

感電防止のため、土間・洗い場の床・地下室など湿気や水気のある場所に設置するときは必ずアースをしてください。

●電源コンセントにアース端子がある場合

本体より接続されているアース線を、室内壁面にある電源コンセントのアース端子に接続してください。



●アース端子がない場合

お買い上げの販売店に依頼し、アース工事（第3種接地工事・有料）をしてください。

接続してはいけないところ

●水道管やガス管（爆発・引火の危険があります）
●電話線や避雷針のアース（落雷の危険があります）

特に水気の多い場所に設置する場合

●アースの他に漏電しゃ断器の設置が義務づ けられています。くわしくはお買い上げの販売店にご相談ください。

移動・ 運搬は、2人以上で

●調節脚を締め直す ●調節脚および背面上部を持つ

お願い

●ドアを持って運んだり・横積みをしないでください。（故障の原因）

お知らせ

●転居の場合、周波数(50/60Hz)の切り替えは不要です。

9.お手入れのしかた

普段は、空拭きで。年一回は電源プラグを抜き、ケースを外してお手入れを

1.布にぬるま湯を含ませて拭く。

汚れが落ちにくい場合は台所用洗剤を使いそのあと、ぬるま湯を含ませて拭く。

2.水滴が残っていたら、さらに空拭きをする。

お手入れ後の点検

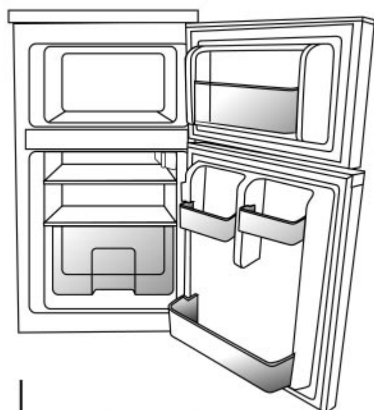
●電源コードに傷がありませんか？
●電源プラグが熱くなっていませんか？
●電源プラグがコンセントにしっかり差し込んでありますか？
不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

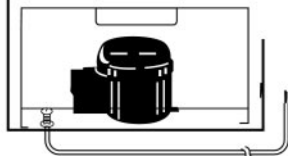
水洗いできる部品

●製氷皿 ●霜取へら
●ケース ●ポケット
●蒸発皿

汚れやすいところ

●ドアパッキングが汚れると傷みやすく冷気漏れの原因になります。
●ケース
汚れが付着したら拭取る。
●ポケット
汚れが付着したら拭取る。
●蒸発皿
手前に引いて、年に一回以上水洗いをしてください。





⚠ 注 意

●冷蔵庫底面に手を入れない。
清掃するとき、底面に手を入れると鉄板により手を切る恐れがあります。

⚠ 警 告

●ぬれた手で電源プラグを持たない。
感電ややけどをすることがあります。
●お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く。
感電ややけどをすることがあります。
●本体や庫内に水をかけない。
電気絶縁が低下し、感電・火災の恐れがあります。

お願い

●食用油が付着したときは、必ず拭き取ってください。(プラスチックの割れ防止)
●次の物は使わないでください。(塗装面や部品を傷めます)みがき粉・粉せっけん・石油・熱湯・たわし・酸・ベンジン・シンナー・アルコールなど。
●化学ぞうきんをご使用の際、注意書きに従ってください。
●電源プラグにほこりが付着していると火災の原因になりますので、プラグを乾いた布で拭いてください。

10.修理を依頼される前に

以下のことをお調べになり、なお異常のあるときは、すぐにお買い上げの販売店に品番URR-88Dと、詳細をお知らせください。

状　　況	お調べいただくところ
全く冷えない	● 電源プラグが抜けていませんか？　● ブレーカーなどが切れていませんか？ ● 停電ではありませんか？　● 温度調節が「0」になっていませんか？
よく冷えない	● 温度調節が「1」「2」になっていませんか？● 冷凍室に多量の霜が付き過ぎていませんか？ ● 冷蔵庫に直射日光が当たっていませんか？　● 近くに発熱器具がありませんか？ ● 熱いものを入れていませんか？　● ドアをひんぱんに開けていませんか？ ● 食品を入れすぎていませんか？　● 周囲のすき間は、充分にあけてありますか？
食品が凍結する	● 温度調節が、「7」になっていませんか？　● 周囲温度が、5℃以下になっていませんか？
庫内に露が付く	● ドアををひんぱんに開けていませんか？　● ドアはキッチリ閉まっていますか？ ● 熱い物や、水分の多い物を入れていませんか？
音がうるさい	● 床がしっかりしていますか？　● 据え付けにがたつきつきがありませんか？ ● 冷蔵庫の周囲に物が接触して、ビビリ音を出していませんか？
床面や庫内に水分がたまる	●扉が食品に当たって半開きになっていませんか？
外側に露が付く	● 湿度が高くなると露が付く場合があります。乾いた布でふいてください。
本体の表面が熱くなる	● 放熱パイプを内蔵し、露付き防止をしています。 使いはじめや夏場は、特に熱くなりますが、異常ではありません。

これは故障ではありません。

ボコボコという音がする	冷却装置内を流れる冷媒（ガス）の音で、停止中もすることがあります。

11.アフターサービスについて

1. 保証書は必ず「お買い上げ年月日」と「販売店名」等所定事項の記入及び記載内容をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。記載内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
ただし、冷媒循環回路（圧縮機・凝縮器・冷却器・毛細管・配管）は5年間です。保証期間中に修理を依頼されるときは、保証書の内容に従って修理いたします。販売店にご相談ください。

3. 保証期間経過後の修理についても、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

4. この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後９年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 製品に異常のある場合には、お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険です。絶対にしないでください。

6. アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店、または当社ご相談窓口にお問い合わせください。

11.アフターサービスについて

保証書（別添）

この冷蔵庫には保証書を別途添付しております。
必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。なお、**食品の補償等、商品修理以外の責はご容赦ください。**

修用性能部品の保有期間

冷蔵庫の補修用性能部品の保補有期間、製造打ち切り後9年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先でのEUPAの家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または燦坤日本電器株式会社（TEL03－3837－1235）にお問合せください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

■ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申しつけいただくときは、以下のことをお知らせください。

品　　名	ノンフロン冷凍冷蔵庫（家庭用）
品　　番	URR-88D
お買い上げ日	保証期間中か否か
故障の状況	できるだけ詳しく
ご　住　所	付近の目印等もお知らせください。
お　名　前	
電 話 番 号	（　　　　）　　　－
訪問希望日	

※品番は保証書にも記載されています。

■保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、無償修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有償にて修理させていただきます。

■ 修理料金のしくみ

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料
などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器など設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

11.アフターサービスについて

燦坤日本電器株式会社　〒110-0016 東京都台東区台東1丁目24番1号

お客様専用ダイヤル　**03-3837-1235**

受付時間 : 月～金曜日　9時～12時／13時～17時（土、日曜、祝日はお休み）

12.廃棄時のお願い

2001年4月施行の家電リサイクル法により、お客さまがご使用済みの冷蔵庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化などの料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。詳しくは、販売店や市町村の窓口にお問い合わせください。

この冷蔵庫を処分するときは、上記のルールを遵守してください。

・この冷蔵庫の冷媒に、可燃性ガスを使用しています。
・この冷蔵庫の断熱材に、可燃性の発泡ガスを使用しています。

修理メモ



愛情点検	長年ご使用のノンフロン冷凍冷蔵庫の点検をぜひ！				
	このようなことはありませんか	●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●電源コードに深いキズや変形がある。 ●焦げくさい臭いがする。 ●冷蔵庫床面にいつも水が溜っている。 ●ビリビリと電気を感じる。 ●その他の異常や故障がある。		ご使用中止	このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

EUPA　燦坤日本電器株式会社

日本本社：〒110-0016 東京都台東区台東1丁目24番1号　TEL : 03-3837-1235

070412